



SOMPOケア egakuより支援サービス 新登場！

「介護施設の業務健康診断」

2024年5月1日





介護現場でよくお聞きする声

管理者

- 人員配置2:1で手厚い運営をしているつもりだが、現場からは負担が大きいといわれる
- 業務量の実態が分からない
- 記録システムやセンサー等のICT導入をしたが、その効果が出ているのか知りたい

現場スタッフ

- 忙しい。とにかく人が足りない。
- ご利用様に向き合う時間をもっと持ちたいのに、目の前の業務で精いっぱい。



『業務量の可視化』をご提案します

目的

- 現場の皆様の「お忙しさ」をデータ化します。
- 「どの業務が」「いつ」「どの職員で」負担になっているのかを数値化します。

なぜ忙しいか見えていますか？

なぜ人が足りないと感じているか見えていますか？

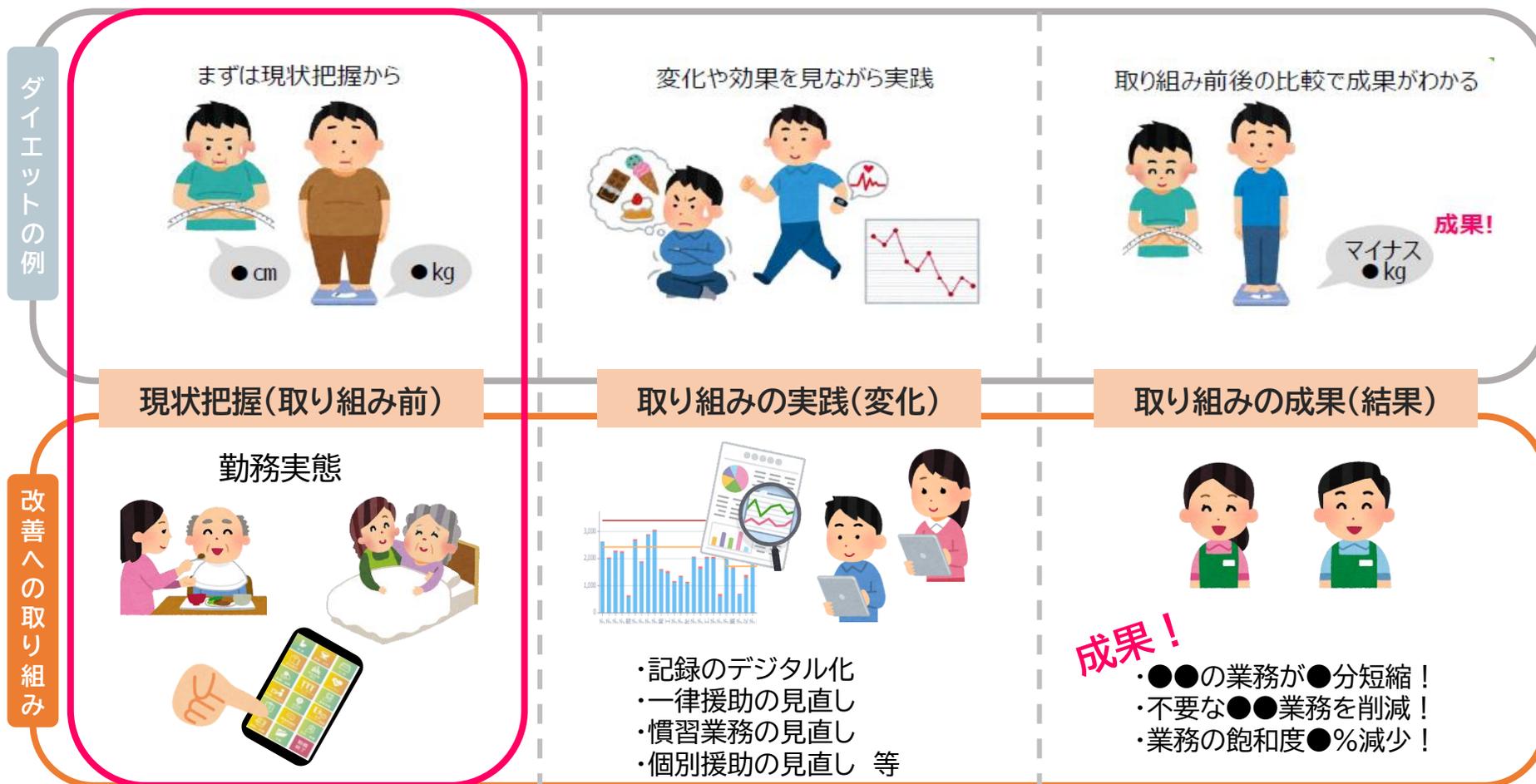
現場内の認識は一致していますか？

現場と本部の認識は一致していますか？

本部と本社の認識は一致していますか？

業務健康診断の必要性

- 現場を継続的に改善していく為には、まずは「現状把握が必要不可欠」です。
- 業務量(援助量や飽和度等)を把握することで、諸々の取り組みによってどのように変わったのか、定量的に成果を測定することができます。





スマホで簡単 タイムスタディ

Wi-Fi環境・端末の
準備は不要



可視化レポートで フィードバック

診断結果の見方や
数値が意味する課題を共有



他施設との 傾向比較

他社事例をヒントにし
具体的な打ち手・解決策を検討



フィードバックは介護経営のプロフェッショナルが担当
多彩な事例紹介や「業務負担軽減」「ケア質の向上」に向けた情報提供をいたします。



デモや説明書をご用意しています。

計測アプリ搭載の
スマホをお届けします。
端末の準備・Wi-fi環
境の準備は不要です。

介護・看護従事スタッ
フ様に、24時間の計測を
行っていただきます。

レポート化のうえで
ご説明します。

介護現場経験者の
専門マネージャーが
丁寧にご説明します。



分析結果を踏まえた「改善立案・改善実施サービス」※別途有償
業務課題と原因の特定、業務整理などの解決策立案・実践に向けた豊富なメニューをご用意しています。

操作マニュアルも
ご用意しています。

計測用の端末をすぐお使い頂ける状態でお届けします。
ご施設での設定やwifi環境準備は必要ありません。
難しい操作は一切なく、期間も1日で終了します。



操作方法

アプリを起動し測定日の勤務場所・シフトを選択

- ① 業務を開始する際、17項目から選んでタップ
- ② 終わったら、終了をタップ
- ③ ①の画面に戻ったら次の業務を選択
～以下繰り返し～
- ④ 勤務終了後に、勤務終了を押して計測終了

ケアの前後に
タップするだけ！



勤務終了時に
タップで完了

計測頂く項目は以下となります。

直接身体介助

利用者に直接的に関わる、接触する介助行為

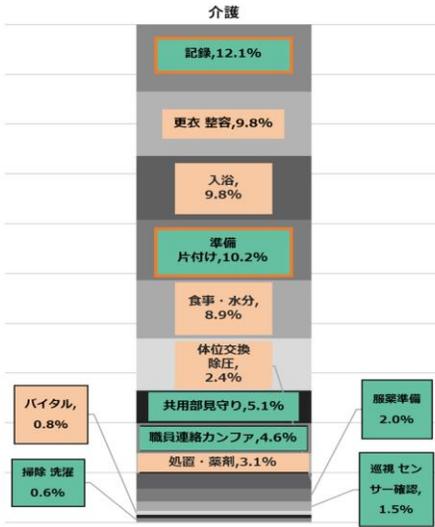
- ① 起居・移動・除圧
- ② 整容・モーニング/イブニングケア
- ③ 排泄介助
- ④ 食事・水分
- ⑤ 入浴
- ⑥ バイタル
- ⑦ 処置・薬剤
- ⑧ コミュ・レク(利用者様との会話)

間接業務

直接介助を行うための行為(準備・片付、見守り、記録など)

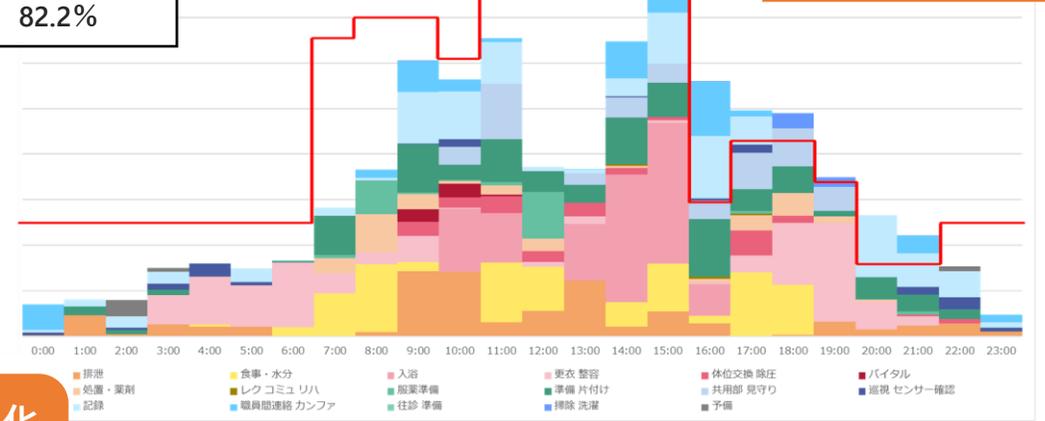
- ⑨ 服薬準備
- ⑩ 準備・片付け
- ⑪ 共用部見守り
- ⑫ 居室巡回/見守り機器確認
- ⑬ 記録
- ⑭ 職員間連絡/カンファ
- ⑮ 往診準備・付き添い
- ⑯ 掃除・洗濯(周辺業務)
- ⑰ 予備 (予備は、ご施設の特徴やご方針に合わせ、計測したい項目としてお使いいただけます)

業務別① (時間割合)



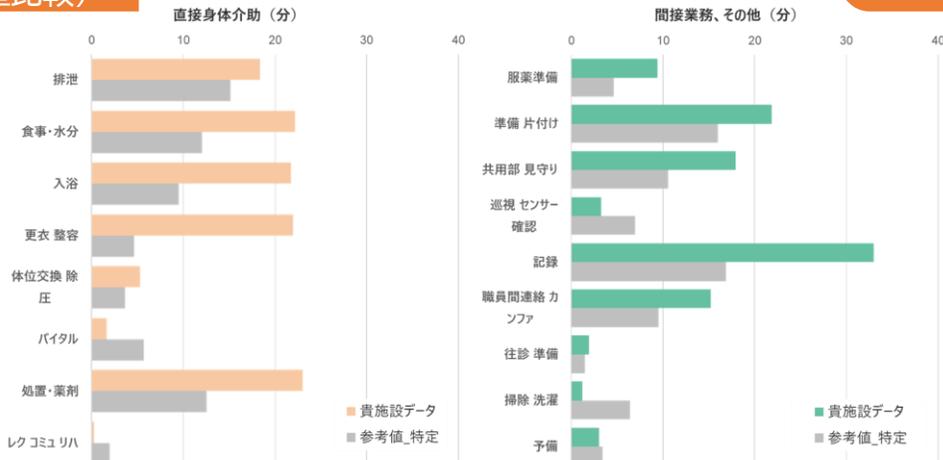
総業務飽和度
82.2%

1日の飽和度と
時間帯ピーク変動

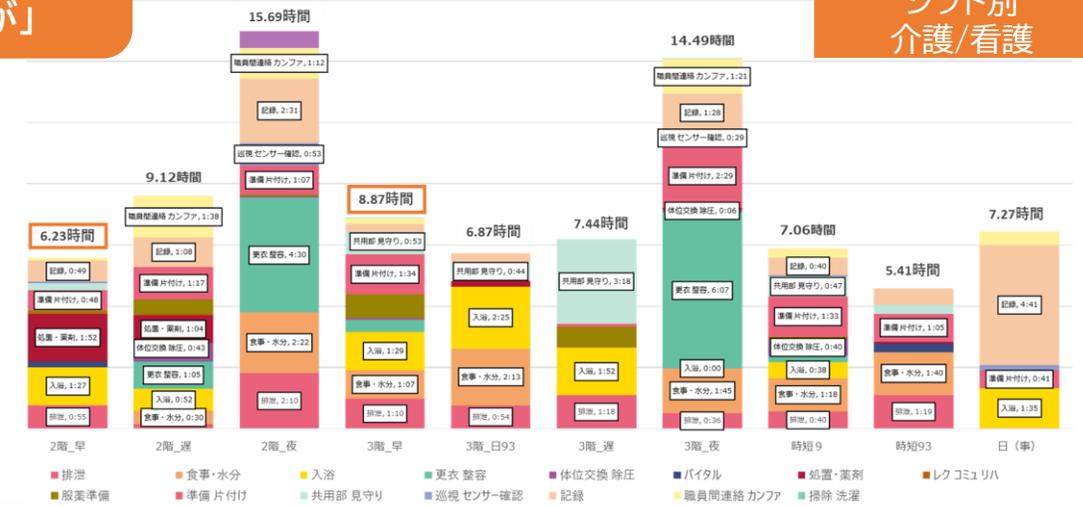


3つの忙しさを可視化
「どの業務が」「いつ」「誰が」

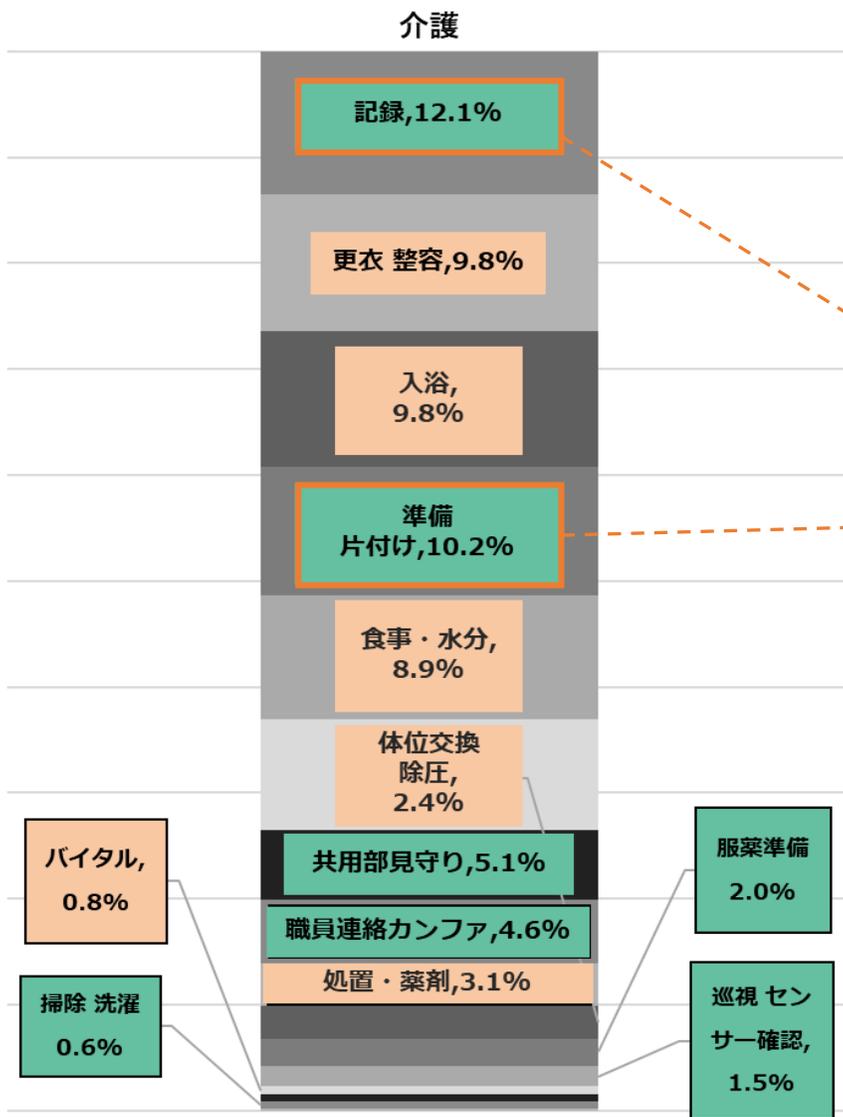
業務別② (参考値比較)



シフト別 介護/看護



「どの業務が」業務別(時間割合)



お客様の声

管理者様：

『自分の施設でこんなに記録にかける時間が多いことが分かった』

現場スタッフ様：

『自分でも計測してみて、準備片付けをしている時間が長いなと実感した。何とかしたい』

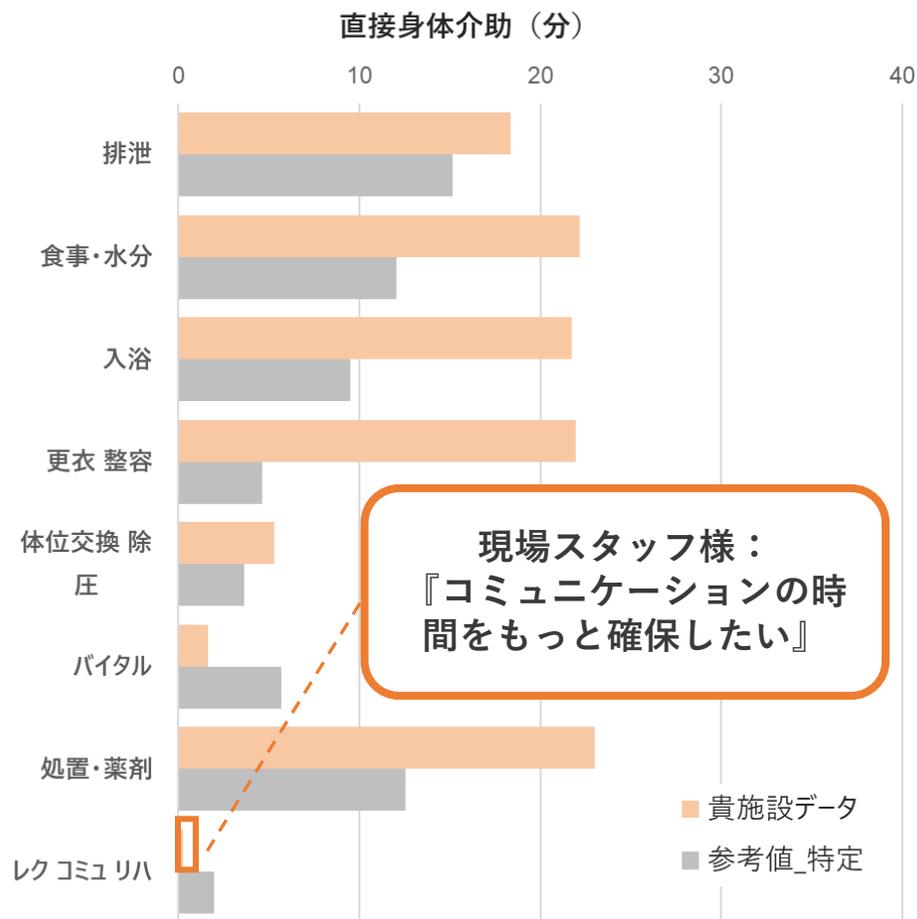
可視化レポートを基にしたフィードバック事例

「どの業務が」 参考値比較

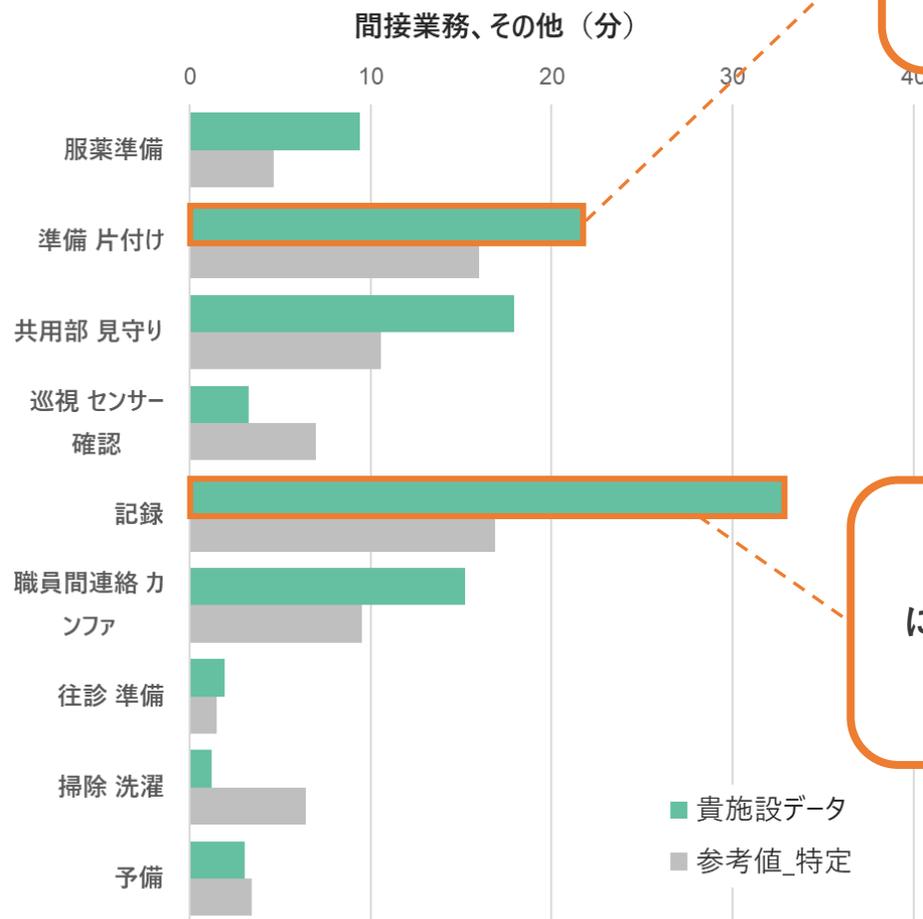
- ・（ご入居者お1人あたり換算）

管理者様：
『他社傾向との比較により
課題が明確になった』

現場スタッフ様：
『自分でも計測してみて、準備
片付けをしている時間が長いな
と実感した。何とかしたい』



現場スタッフ様：
『コミュニケーションの時間をもっと確保したい』



管理者様の声：
『記録システムを導入したのに記録に時間がかかっていることが分かった。
活用状況を確認したい』

「いつ」 参考値比較

【グラフの見方】

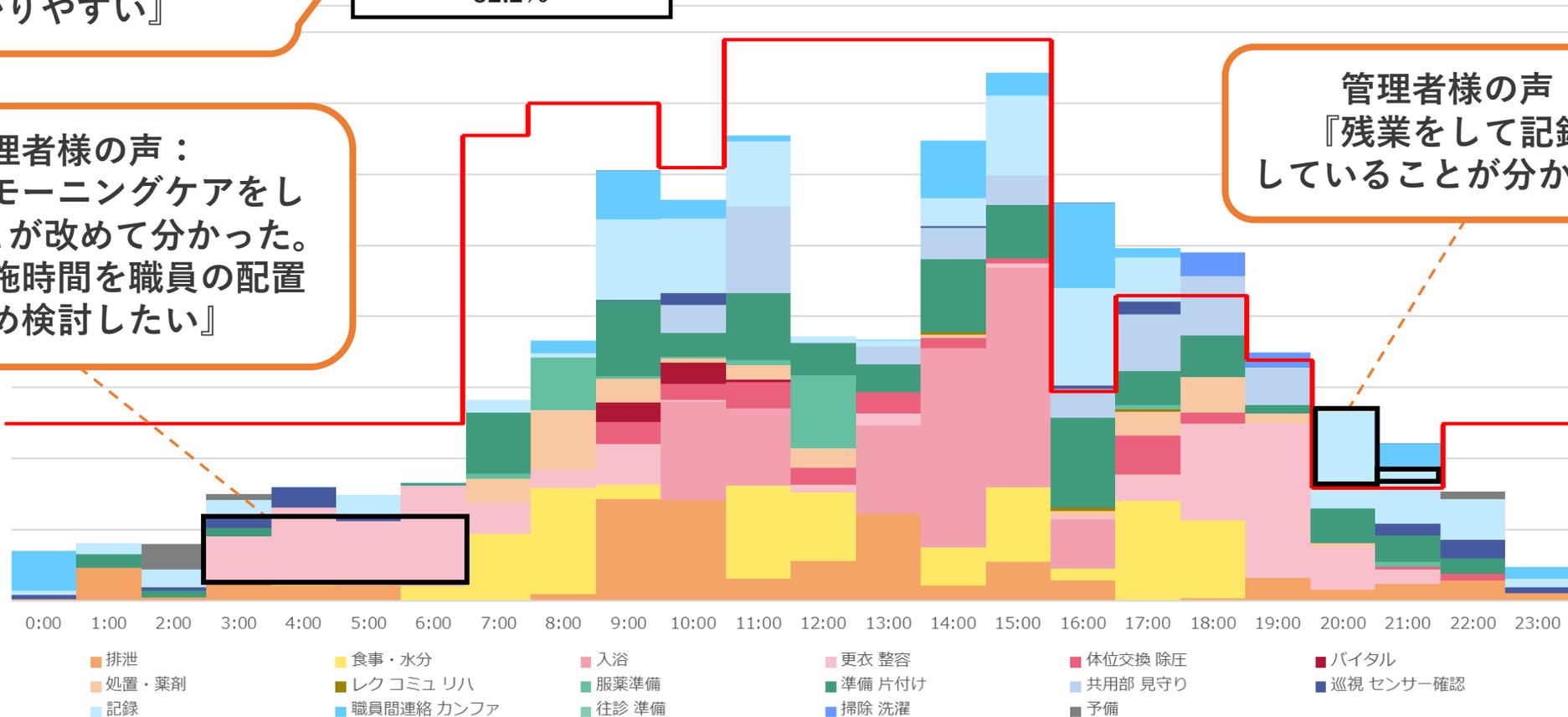
- 1.折れ線グラフ（赤ライン）は計測日の配置シフト（勤務時間）を1日当たりで表示
- 2.棒グラフは実際入力いただいた業務時間（休憩、未入力は含まない）を表示
- 3.総業務飽和度は1日あたりの「2.計測業務時間 ÷ 1.シフト勤務時間」の計算式にて簡易試算したもの

現場スタッフ様：
『忙しさが数値化されて
分かりやすい』

総業務飽和度
82.2%

管理者様の声：
『早朝にモーニングケアをして
いることが改めて分かった。
ケアの実施時間を職員の配置
を含め検討したい』

管理者様の声：
『残業をして記録を
していることが分かった』



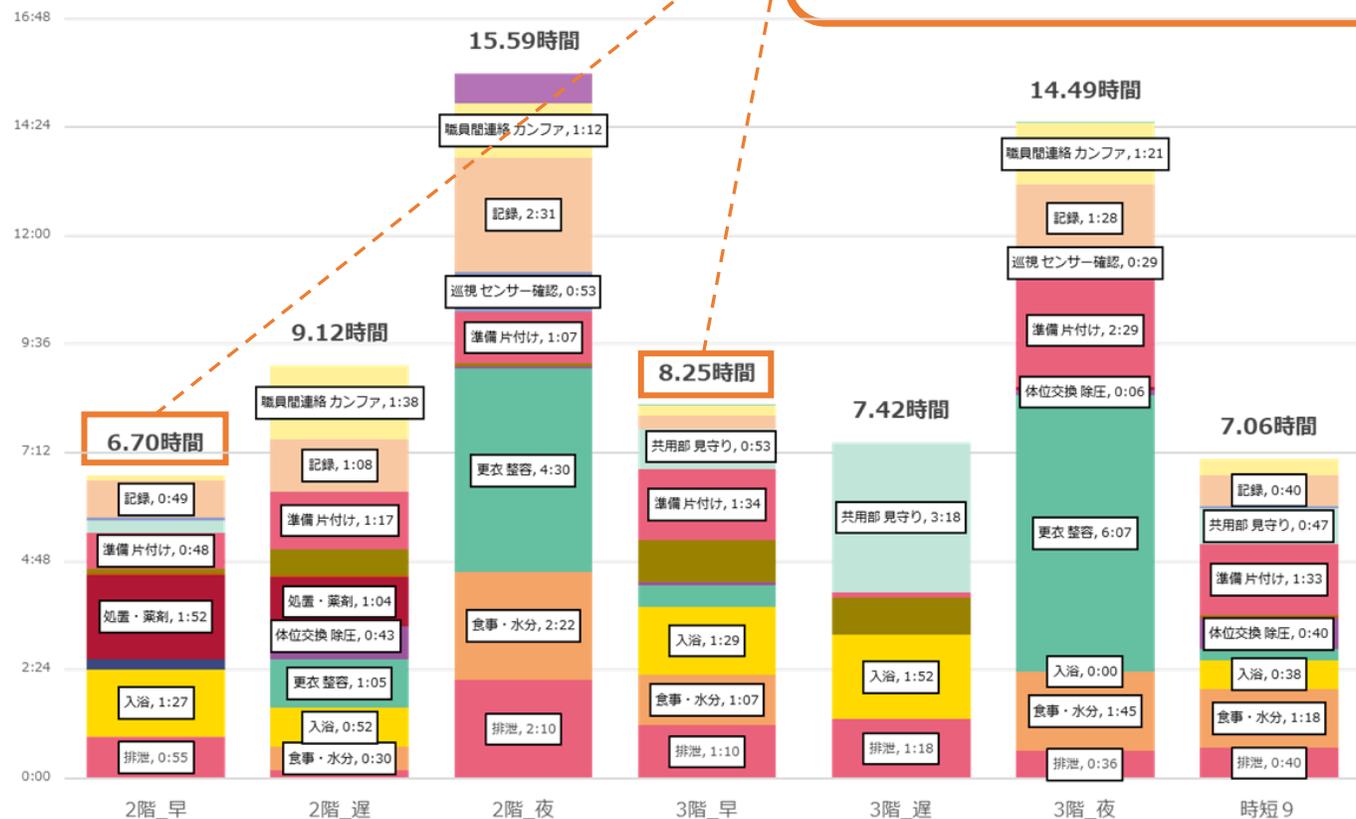
可視化レポートを基にしたフィードバック事例

「誰が」 参考値比較

- ・ (休憩、未入力を除く)
- ・ 介護(時間/1日あたり)

『同じ早番でも、休憩が取れている職員と取れない職員がいることが分かった』

『職員が指示を理解して業務に当たってくれていたことが見えて良かった』



- 排泄
- 食事・水分
- 入浴
- 更衣整容
- 体位交換 除圧
- バイタル
- 処置・薬剤
- レク コミュリハ
- 服薬準備
- 準備片付け
- 共用部 見守り
- 巡視 センサー確認
- 記録
- 職員間連絡カンファ
- 掃除 洗濯

	勤務場所 0 1 08:00~18:00 シフト 0 3	勤務場所 0 1 16:00~翌10:00 シフト 0 3	勤務場所 0 1 08:00~18:00 シフト 0 5
9:30			[9:37-9:37]処置・薬剤 [9:38-9:38]バイタル [9:53-9:57]処置・薬剤
10:00	[10:13-11:11]入浴	[10:11-10:11]入浴	待機
10:30			
11:00	待機 [11:25-12:00]食事・水分 [11:52-11:55]処置・薬剤	[11:00-11:02]記録 [11:04-11:14]掃除 洗濯	[12:00-12:15]食事・水分 [12:05-12:08]処置・薬剤
11:30		[11:16-11:57]入浴 [11:58-11:58]処置・薬剤	[11:36-11:50]処置・薬剤 [11:50-11:53]処置・薬剤 [11:53-11:57]排泄
12:00	[12:00-12:15]食事・水分 [12:05-12:08]処置・薬剤 [12:15-12:18]食事・水分	[12:01-12:02]処置・薬剤 [12:02-12:08]掃除 洗濯	[12:00-12:15]食事・水分 [12:05-12:08]処置・薬剤

シフト毎に、業務スケジュール実態表を作成することもできます。



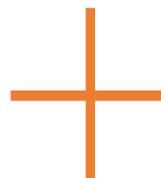
- ✓ 各業務を「職員」と「経営層」が可視化された同じ定量データを見ながら、業務の偏りや総量を把握し、改善を検討できることがすばらしい。
- ✓ 当社の事業所では改善のPDCAを回す文化がなかった。この可視化を起点にして各スタッフがハード面、ソフト面にとらわれず、ここが改善できるのではと30以上もの意見をあげてくれた。現状にとらわれず、改善をすることの意識改革に寄与した。
- ✓ 感覚でそうだろうな、と思っていたことを実際に客観的に確認出来て良い。
- ✓ 今までわからなかった業務量が単純に可視化出来るのはいい。

業務状況可視化調査

説明・準備・計測・分析・FB

1施設(定員50名)様あたり

300,000 円/税抜き



交通費 実費

基本料金 + 定員 1 名あたりで計算 (下表の通り)

(単位：千円)

基本料金	200
定員1名あたり	2

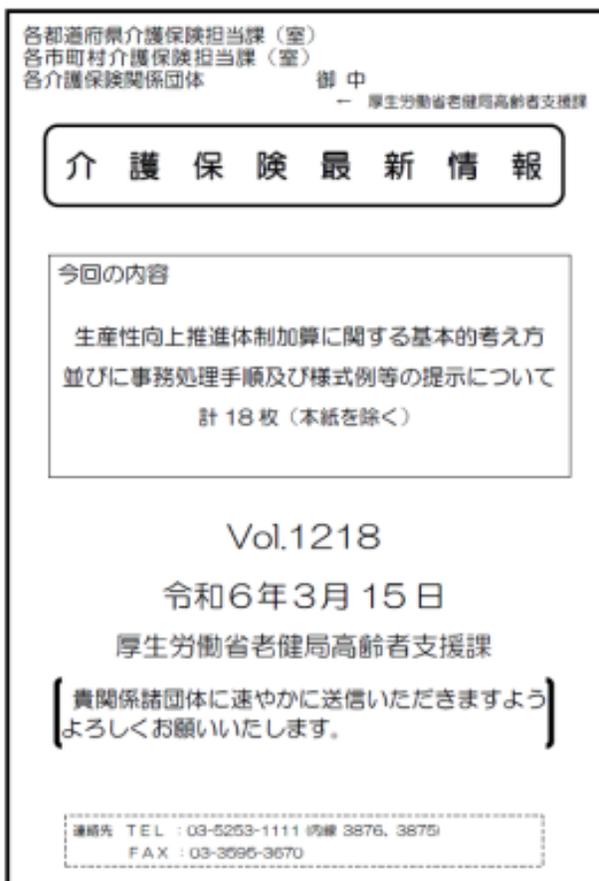
シミュレーション

定員数	50	100	29
価格	300	400	258

- ※調査完了の月毎にご請求させていただきます。
- ※秘密保持契約書は締結済みとなっております。
- ※業務委託契約書は、本件として締結させていただく予定です。

生産性向上推進体制加算の新設

生産性向上推進体制加算（Ⅰ） 100 単位/月
 生産性向上推進体制加算（Ⅱ） 10 単位/月



	要件
加算Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ・（Ⅱ）の要件を満たし、（Ⅱ）のデータにより業務改善の取組による成果が確認されていること。 ・見守り機器等のテクノロジーを複数導入していること。 ・職員間の適切な役割分担(いわゆる介護助手の活用など)の取組等を行っていること。 ・1年以内ごとに1回、業務改善の取組による効果を示すデータの提供(オンラインによる提出)を行うこと。
加算Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する方策を検討するための委員会の開催や必要な安全対策を講じた上で、生産性向上ガイドラインに基づいた改善活動を継続的に行っていること。 ・見守り機器等のテクノロジーを1つ以上導入していること。 ・1年以内ごとに1回、業務改善の取組による効果を示すデータの提供(オンラインによる提出)を行うこと。

本提案書に記載されているすべての内容の著作権は、特別の断り書きが無い限り当社に帰属するか、当社が著作権者より許諾を得て使用しているものです。

本資料の記載内容(文章、画像、映像など)の一部および全てについて、事前の許諾なく無断で複製、複写、転載、転用、編集、改変、販売、送信、放送、配布、貸与、翻訳、変造などの二次利用を固く禁じます。万が一、そのような事実を発見した場合には、警告の上、悪質な場合には法的措置をとる場合がございます。

本資料の転載、複製リンクをご希望の場合、担当者まで事前にご一報いただけるようお願いいたします。



SOMPO ケア

介護の未来を変えていく